

サブゼミ 「光物性」

世話人 東北大・理 武田 淳, 河原田美穂

今回の光物性のサブゼミは、講師に東大(工)の十倉好紀先生を迎え、「有機半導体・分子性結晶の光物性」というテーマで行いました。また、発表者として、東大(理)の吉沢雅幸さん、横浜国大(工)の春木美華子さん、そして河原田美穂さんに、それぞれがなさっている研究について発表していただきました。

サブゼミは2日間行なわれましたが、その日の前半に十倉先生の講義、後半に発表者の方の発表と、参加者の方にあきがこないように配慮したつもりです。

また、光物性サブゼミへの参加人数は、1日目が40~50人、2日目が30~35人程度だったと思います。

先生の講義および発表者の発表はOHPを用いて行ない、また、参加者の方の講義への理解を深めるために、あらかじめ各人にレジメを作ってお渡し、当日配布致しました。しかし、レジメは、もう少し前に参加者に配布すべきだったのではないかと考えています。十倉先生の講義は、初学者にもわかりやすく、また、有機半導体の応用面、これからの展望などを含めて多岐にわたるもので、大変勉強になりました。また、発表者の方の発表も、大変すばらしいものでした。

講師の方、発表者の方の決定及びテキストにのせる原稿の依頼などに対し、連絡が遅れるなど、十倉先生をはじめ、発表者の方、サブゼミ担当の堀江さんには大変ご迷惑をおかけしましたが、皆様のご協力のおかげでなかなか盛況なサブゼミとなりました。ここに感謝の意を表します。私にとりましても、同じ研究分野の方との親睦を深めることができ、大変有意義なものでした。

サブゼミ 「アモルファス」

世話人 亀山 奈美

近年のアモルファス物質の研究の発展はめざましく、その物性の多くが明らかにされています。けれどもその研究は、細分化されアモルファス物質の全体を見渡すことは不可能なことになってきているのです。それで今回のサブゼミは、アモルファスの全体像をつかもうという目的で行ないました。タイトルは、アモルファス物質の電子状態についてです。サブゼミアモル